

第一内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] GGO 病変に対する EBUS-GS 法の有用性の検討

[研究機関] 北海道大学病院第一内科

[研究責任者] 品川 尚文（第一内科・助教）

[研究の目的]

我々は肺末梢小型病変の診断においてガイドシース併用気管支腔内超音波断層法（EBUS-GS）の有用性を示してきました。一方スリガラス陰影（GGO）に対する経気管支診断は難しいとされていますが、近年 GGO 病変に対しても同法による診断が試みられています。そこで当科にて行った GGO 病変に対する EBUS-GS による診断率を後ろ向きに検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2003年8月から2010年2月に当科にてGGO病変に対してEBUS-GSを施行した症例。
ただし、期間を2010年6月まで延長する可能性がある。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査結果（胸部CT、胸部レントゲン写真）、気管支鏡検査の結果（病理組織、細胞診、培養検査の結果、EBUSの画像所見、検査時間）、気管支鏡による診断名、最終診断名

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院第一内科 担当医師 品川尚文
電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899